

学びの夏～ファシリテーションスキル向上研修会②活用編～

今回は8月2日の研修を実際に活用し、生徒の書く活動に活用してみました。

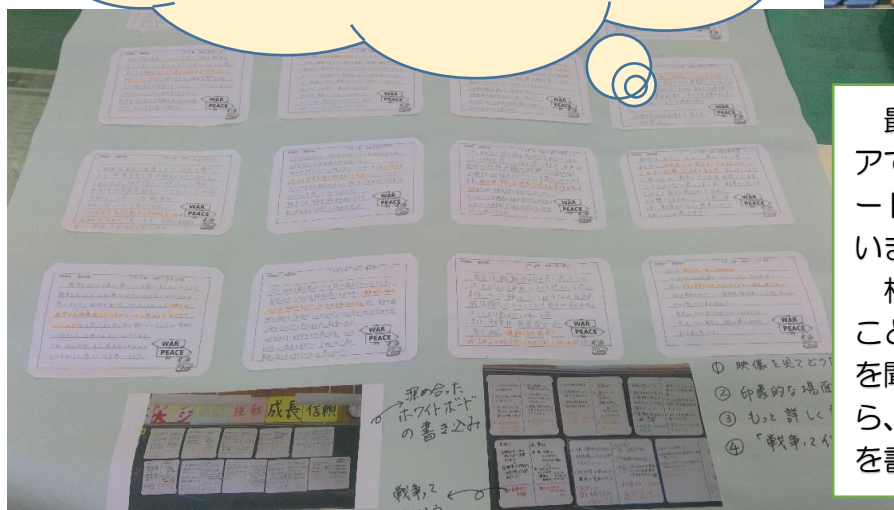
活用することで良さを実感

印象に残った場面や具体的な場면을具体的に考えさせることで、子ども達がより内容を深く考えることにつながったと思います。



最初から感想を書くのではなく、ペアで互いにファシリテートしながらボードに意見を書き込み、考えを伝えあいました。

相手に聞いてもらうことで伝えたいことが明確になり、また、相手の意見を聞くことで新しいことに気づきながら、最後は5分程度で内容のある感想を書くことができました。



8月2日研修会感想

・ファシリテーターは、「環境を調整する人」という言葉をお聞きしてなるほどと思いました。話し合いを盛り上げるために、オープン・クエスチョンやエピソード記録を使うといったポイントがわかり、早速実践していきたいと思います。エピソードの中にクローズドクエスチョンを入れることや、フォーメーションの工夫等現実的な方法も参考になり、うれしかったです。これから、話し合ったことを合意形成する力や、自分が課題を追求していく力といった、社会に出たときに通用していく力の育成を目指して生徒と一緒に自分も力をつけていきたいと思います。（中学校ベテラン）

大変充実した研修でした。ファシリテーションの研修によって、今日のように楽しく主体的な学びが生まれることを実感しました。ファシリテータの役割がとても重要で、認め引き出してくれる人の存在は児童だけでなく、職員においても大切だと思いました。また、ホワイトボードの効果によって、自分の話したことが可視化でき、モチベーションが上がるので、アイスブレイク的な雰囲気生まれ、話すこと楽しさが味わえました。今回紹介された授業の中での使用は児童たちにとっても効果的だと思います。さらには、校内研修においても、全員の意見を吸い上げ、その中から、よさと課題を見つけ、今後につなげていくための手段としてその有効性も感じることができました。話す力・聴く力の育成。コミュニケーション力の育成。書く力の育成にもなります。活用の工夫によって様々な効果が得られる手法であると学ばせていただきました。ありがとうございました。（小学校）